

ブロック：西海

1. ハマトビウオ・太平洋鹿児島県海域

海域	太平洋鹿児島県海域	参加機関	鹿児島県水産技術開発センター 水産資源研究所
----	-----------	------	---------------------------

(1) 調査の概要

- ・機構は、調査指針の作成および状況報告書の取りまとめを行った。
- ・鹿児島県は、生物調査収集調査を行った。

(2) データ収集状況

- ・九州南部海域の標本漁協における月別漁獲量データおよびトビウオ浮敷網漁船の月別水揚げ統数を収集した。標本漁協における令和3年の漁獲量は56トンで前年（30トン）を上回り、平年（2011年～2020年の平均：234トン）を下回った。
- ・九州南部海域で漁獲されたハマトビウオの精密測定を漁期に月1回程度実施し、産卵期および漁獲サイズ等を把握した。令和3年は1～3月に3回の精密測定を実施し、計75尾の測定を行った。

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：詳細な回遊経路は明らかになっていないが、伊豆諸島～九州南部の太平洋側を回遊していると示唆されている（米沢ら 2012）。
- (2) 年齢・成長：成長様式は得られていないが、尾叉長・体重ともに雌の方が大きい傾向がある。
- (3) 成熟・産卵：GSI（生殖腺重量指数＝生殖腺重量/体重×100）による各月の生殖腺の発達状況により、九州南部海域における産卵期は2～4月と推察されている。成熟年齢は1歳と推察されている。
- (4) 被捕食関係：情報収集中

(4) 備考

- ・漁獲量やCPUE等の動向には漁場への来遊条件の影響も大きいと考えられ、資源状態を判断するには情報が不足している。

## 2. ツクシトビウオ東シナ海 佐賀、長崎、鹿児島海域

海域	東シナ海 佐賀、長崎、鹿児島海域	参加機関	長崎県総合水産試験場 佐賀県玄海水産振興センター 鹿児島県水産技術開発センター
----	------------------	------	---

### (1) 調査の概要

- ・長崎県、佐賀県、鹿児島県は生物情報収集調査を実施

### (2) データ収集状況

- ・長崎県では、標本漁協や魚市場における月別漁獲量データの整備、5～10月に漁獲された本種の精密測定、本種を含むトビウオ類の飛翔目視観察を実施した。
- ・佐賀県では、標本漁協や魚市場における月別漁獲量データを整備、5～7月に漁獲された本種の精密測定を実施した。
- ・鹿児島県では、標本漁協における月別漁獲量データ、4～9月に漁獲された本種の精密測定、トビウオ浮敷網漁船の水揚げ統数の整備を実施した。

### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：九州北西岸では、鹿児島県～山口県にかけて春に産卵親魚群が北上し、秋に未成魚が南下することが知られている（一丸・中園 1998）。
- (2) 年齢・成長：情報収集中
- (3) 成熟・産卵：GSI（生殖腺重量指数＝生殖腺重量/体重×100）による各月の生殖線の発達状況より、本種の産卵期は過去のデータから5～7月と推察される。産卵場は主に九州北西部の沿岸域と考えられ、成熟年齢は1才と推察される。
- (4) 被捕食関係：情報収集中

### (4) 備考

- ・来遊条件の影響も大きいと考えられる本種の場合、資源状態を判断するには情報が不足している。
- ・トビウオ類の未成魚は3種（ツクシトビウオ、ホソトビ、ホソアオトビ）を区別せず流通するため、現在の標本漁協の漁獲量調査だけでは本種未成魚の漁獲量を把握するのが困難。

### 3. ホソトビウオ東シナ海 佐賀・長崎海域

海域	東シナ海佐賀・長崎海域	参加機関	長崎県総合水産試験場 佐賀県玄海水産振興センター
----	-------------	------	-----------------------------

#### (1) 調査の概要

- ・長崎県、佐賀県は生物情報収集調査を実施

#### (2) データ収集状況

- ・長崎県では、標本漁協や魚市場における月別漁獲量データの整備、5～10月に漁獲された本種の精密測定、本種を含むトビウオ類の飛翔目視観察を実施した。
- ・佐賀県では、標本漁協や魚市場における月別漁獲量データを整備、6～7月に漁獲された本種の精密測定を実施した。

#### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊： 文献から情報収集済み
- (2) 年齢・成長： 情報収集中
- (3) 成熟・産卵： GSI（生殖腺重量指数＝生殖腺重量/体重×100）による各月の生殖腺の発達状況より、本種の産卵期は過去のデータから5～7月と推察される。産卵場は主に日本海側の沿岸域と考えられ、成熟年齢は1才と推察される。
- (4) 被捕食関係： 情報収集中

#### (4) 備考

- ・来遊条件の影響も大きいと考えられる本種の場合、資源状態を判断するには情報が不足している。
- ・トビウオ類の未成魚は3種（ツクシトビウオ、ホソトビ、ホソアオトビ）を区別せず流通するため、現在の標本漁協の漁獲量調査だけでは本種未成魚の漁獲量を把握するのが困難。